

## 放課後子ども総合プラン指導者合同研修会②

職員研修  
有志指導者研修  
要請研修

「発達に特性のある子どもについて理解を深め、日常生活の中で困り感を抱える子どもへの支援方法を学ぶ」を目的として、放課後児童クラブ及び放課後子供教室に携わる関係者282名の方々がYouTube ライブでオンライン受講しました。

# 子どもを理解するとは、その体験を理解することである



吉岡靖史 先生

岩手医科大学附属病院児童精神科病棟医長の吉岡靖史先生から「発達障がいの理解と子どもとの接し方～だれもが過ごしやすい居場所づくりに向けて～」と題して講義をいただきました。

発達障がい（特に ASD<自閉スペクトラム症>）の子の特徴について、定型発達の子の発達の仕方と比較しながら説明していただきました。ASD の子は、定型発達の子よりも関係の発達に遅れがあるそうです。そのため、人と関わり合う力が十分に育たず、その分、自分一人で世の中を受け入れなければならない状況に置かれているそうです。

講義の後には、質疑応答を行いました。受講者から提出してもらった事前質問の中から、

具体的なケースについて吉岡先生からアドバイスをいただきました。専門医ならではの見立てと具体的なアプローチのアドバイスは、とても参考になりました。

受講者の中では、オンライン研修のメリットを生かし、受講終了後に、職員同士で感想交流会をしたり、通所している児童のケース会議を開いたりして、施設全体で振り返りや共有化を図ったところもありました。



質疑応答のようす

## ◆本県における放課後子ども総合プランの推進について

6月に実施した「放課後子ども総合プラン指導者合同研修会①」と同じく、岩手県教育委員会事務局生涯学習文化財課の松川仁紀主任社会教育主事より、国や本県における放課後子供教室や放課後児童クラブ、児童館の設置状況や趣旨・目的、推進方策等説明いただきました。



### 《受講者の声》

- ・初めて専門医の先生の講義を受講し、ASD への理解を深めることができとても勉強になった。児童への共感に対応の第一歩となることを学んだ。
- ・講義とともに具体的なお話、疑問に対する適切な回答をいただき、日頃悩んでいたことに対して、方向性を示していただいた。
- ・当クラブも対象となる児童を受け入れており、担当職員とともに理解を深めることができたよい機会になった。

### 《受講者の評価》

A 有意義	45.9%
B どちらかといえば有意義	45.5%
C どちらかといえば有意義でなかった	8.6%
D 有意義でない	0%

### 《担当者（佐藤）から》

オンライン形式だったこともあり、たくさんの方が受講されました。発達に特性のある子への支援の仕方は、子どもの特性に応じて様々です。障がいの起因するところがわかると、対処のアプローチが変わると思うので、発達障がいのメカニズムを知ることができ、私自身とても勉強になりました。